

【専門研修の詳細について】

専門研修の各講座は、教科及び領域等の専門的な内容を深め、実践的な指導力の向上を図ることを目的として実施します。

研修番号53～71の教科別講座は、教職5年経験者を対象として教科指導力の向上を目指す「5年経験者研修の教科別研修に指定されている講座（コース）」です（「対象者」欄に、「5年研指定」と表記）。これらの講座では、5年経験者研修対象者を優先的に受け入れます。その上で定員に余裕があれば、自由応募による受講も受け入れています。内容は、5年経験者を対象とする教科別研修であることを御承知ください。なお、教科によっては、自由応募を受け付けていない講座（コース）もありますので御注意ください。

研修番号72～85の講座は、原則として自由応募制です。

※表中の「予定人数」は、5年経験者研修対象者を含めた数です。

※各講座の受付時間は、講座開始30分前からですが、一部の講座では集合時間が指定されています。

※追加連絡、詳細については6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。

講座・コース名		53-A 国語科講座 小中学校コース					
ねらい	講義や演習等を通して、国語科の教科指導力の向上を図り、学習指導要領を踏まえた授業の在り方及び指導方法の改善について理解を深めます。						
対象者 5年研指定	【指定】小学校5年経験者研修対象者（国語選択者）及び中学校5年経験者研修（国語科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	200人				
		自由応募	なし				
期日・時間・会場	内 容 等						
8月9日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 講堂他	【講義・演習：授業力の向上】 講義や演習等を通して、国語科の3領域から「読むこと」の領域と、「話すこと・聞くこと」・「書くこと」の2領域から選択した1領域に関する具体的な指導の在り方、評価などについての理解を深めます。						
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.56参照） ・申し込みに当たっては、希望する領域の番号（下表参照）を名簿の「備考」欄に記入してください（人数調整の都合上、御希望に沿えないこともあります）。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">話すこと・聞くこと</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">書くこと</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・課題作成で使用した学年の教科書を持参してください。 			①	話すこと・聞くこと	②	書くこと
①	話すこと・聞くこと	②	書くこと				
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506						

講座・コース名		53-B 国語科講座 高等学校コース	
ねらい	講義や演習等を通して、国語科の教科指導力の向上を図り、学習指導要領を踏まえた授業の在り方及び指導方法の改善について理解を深めます。		
対象者 5年研指定	【指定】高等学校5年経験者研修（国語科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	45人
		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
8月19日（月） 9:30～16:30 愛知淑徳大学 （長久手キャンパス）	【講義・演習：授業力の向上】 講義や演習等を通して、国語科の3領域に関する具体的な指導の在り方、評価などについての理解を深めます。		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.56参照） ・高等学校学習指導要領解説国語編（平成22年）、課題で使用した教材が収録されている教科書、「バグダッドの靴磨き」が収録された教科書または書籍を持参してください。 ・会場は、愛知淑徳大学（長久手キャンパス）になります。詳細は、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	53-C 国語科講座 郷土の文学コース		
ねらい	国語科の3領域の一つである「読むこと」に関する指導内容・指導方法について研修し、指導力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】小学校教員及び中学校、高等学校、特別支援学校の国語科教員	予定人数	30人
		自由応募	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月2日(金) 10:00~16:30 ・研修会場 半田市立岩滑小学校 新美南吉記念館 ・集合時刻, 場所 9:45 半田市立岩滑 小学校	【講義・演習・見学：指導力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の児童文学作家「新美南吉」の生い立ちや作品の紹介を通して、文学に触れる楽しさや意義についての理解を深めます。 ・南吉作品を基に、文学作品の教材分析の仕方についての理解を深めます。 ・追加連絡等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・南吉ゆかりの地の散策があります。各自で熱中症対策（水分補給・帽子・日傘等）ができるように準備をしてください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	54-A 社会科講座 小中学校コース		
ねらい	新学習指導要領を踏まえた授業の在り方及び指導方法の改善についての理解を、協働的な活動を通して深め、教科指導力の向上を図ります。		
対象者 5年研指定	【指定】小学校5年経験者研修対象者（社会選択者）及び中学校5年経験者研修（社会科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	120人
		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
8月21日(水) 9:30~16:30 総合教育センター 講堂他	【講義：小学校社会科及び中学校社会科の指導法】 新学習指導要領の趣旨を生かした指導方法について学びます。 【協議：社会科の授業の改善について】 レポートを基にして、授業における工夫や今後の改善点及び課題について協議します。		
備 考	・課題あり (p.57参照)		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	54-B 社会科講座 高等学校コース		
ねらい	地理歴史科・公民科における学習指導要領を踏まえた授業の在り方及び指導方法の改善についての理解を深め、教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】高等学校5年経験者研修（地理歴史科・公民科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	40人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
8月22日（木） 9:30～16:30 総合教育センター 多目的ホール	<p>【講義：学習指導要領及び評価】 学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業と評価の在り方について理解を深めます。</p> <p>【講義：地理歴史科・公民科の指導法】 学習指導要領の趣旨を生かした指導方法について学びます。</p> <p>【協議：地理歴史科・公民科の授業の改善について】 レポートを基にして、授業における工夫や今後の改善点及び課題について協議します。</p>		
備 考	・課題あり（p.57参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	55-A 算数・数学科講座 小学校コース		
ねらい	学習指導要領を踏まえた算数の授業の在り方や数学的活動を通じた授業づくりに対する理解を深め、教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】小学校5年経験者研修対象者（算数選択者）は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。 所属する教育事務所によって、講座実施日が異なりますので御注意ください。	予定人数	120人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
<p>【海部・西三河・東三河教育事務所管内の対象者】</p> <p>7月23日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第10講義室</p>	<p>【講義・実習：主体的・対話的で深い学びを実現するための算数科学習】 学習指導要領を踏まえつつ、これまでの授業の進め方を振り返る機会に触れながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた数学的活動の在り方について学びます。</p> <p>【協議：算数・数学的活動を通じた授業づくり】 事前課題レポートを基にして、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じた授業づくりに関する研究協議を行います。</p>		
<p>【尾張・知多教育事務所管内の対象者】</p> <p>7月24日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 第10講義室他</p>			
備 考	・課題あり（p.57参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	55-B 算数・数学科講座 中学校コース		
ねらい	学習指導要領を踏まえた数学の授業の在り方や数学的活動を通じた授業づくりに対する理解を深め、教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】中学校5年経験者研修（数学科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	40人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
8月20日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第10講義室	<p>【講義：数学的活動を通じた授業づくり】 学習指導要領を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた数学的活動の在り方について学びます。</p> <p>【協議：数学的活動を通じた授業づくり】 事前課題レポートを基にして、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じた授業づくりに関する研究協議を行います。</p>		
備 考	・課題あり（p.57参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	55-C 算数・数学科講座 高等学校コース		
ねらい	高等学校数学科における指導上の問題点とその対応方法について理解を深めるとともに、効果的なICTの活用について研修し、指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】高等学校5年経験者研修（数学科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	65人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
8月6日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第2情報実習室 第5講義室	<p>【講義・実習：ICTを活用した数学科指導法】 数学教育における効果的なICTの活用について体験学習をします。</p> <p>【講義：学習指導要領のポイント】 学習指導要領の要点及び目標に準拠した指導方法について講義します。</p> <p>【協議：課題学習について】 数学的活動を通じた課題学習の在り方について研究協議をします。</p>		
備 考	・課題あり（p.57参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	56-A 理科講座 小学校コース		
ねらい	理科好きな子どもを育てる授業を創造するための観察・実験の方法と指導についての協議及び実習を通して、教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】小学校5年経験者研修対象者（理科選択者）は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	40人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
7月23日（火） 9:30～16:30 愛知工業大学 （八草キャンパス）	<p>【講義】 身の回りの物を利用した教材開発について理解を深めます。</p> <p>【実習・協議：身の回りの物を利用した教材の作製及び実習】 理科の授業に活用できる身の回りの物を利用した簡易な教材の数々をデモンストレーションと実習体験で学びます。また、作製した教材を利用した授業づくりについて協議します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・実験材料費は、自己負担です（30年度は1,000円）。 ・課題なし ・実習体験のテーマは予定です。若干変更する場合があります。 ・会場は、愛知工業大学（八草キャンパス）になります。公共交通機関を利用する場合は、八草駅（リニモ・愛知環状鉄道）から徒歩約10分です。八草駅から大学へのシャトルバス（無料）も利用できます。自家用車を利用する場合は、学内の駐車場が利用できます。入構する際に警備室で「講座名・所属名・氏名」を申し出て警備員の指示に従ってください。 ・受付場所、講義室については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	56-B 理科講座 中学校コース		
ねらい	理科好きな子どもを育てる授業を創造するための教材開発の方法と指導についての協議及び実習を通して、教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】中学校5年経験者研修（理科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	30人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
7月25日（木） 9:30～16:30 愛知工業大学 （八草キャンパス）	<p>【講義】 身の回りの物を利用した教材開発について理解を深めます。</p> <p>【実習・協議：身の回りの物を利用した教材の作製及び実習】 理科の授業に活用できる身の回りの物を利用した簡易な教材の数々をデモンストレーションと実習体験で学びます。また、作製した教材を利用した授業づくりについて協議します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・実験材料費は、自己負担です（30年度は1,000円）。 ・課題なし ・実習体験のテーマは予定です。若干変更する場合があります。 ・会場は、愛知工業大学（八草キャンパス）になります。公共交通機関を利用する場合は、八草駅（リニモ・愛知環状鉄道）から徒歩約10分です。八草駅から大学へのシャトルバス（無料）も利用できます。自家用車を利用する場合は、学内の駐車場が利用できます。入構する際に警備室で「講座名・所属名・氏名」を申し出て警備員の指示に従ってください。 ・受付場所、講義室については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	56-C 理科講座 高等学校コース		
ねらい	高等学校理科における効果的な観察・実験の指導に関する実習，実践発表，協議等を通して，教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】高等学校5年経験者研修（理科）対象者は，教科別研修として本コースを必ず受講してください。 【自由応募】高等学校の理科教員	予定人数	45人
5年研指定		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月21日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 視聴覚教室他	<p>【分野別講義・実習：興味・関心を高め，理解を深める観察・実験の在り方】 物理・化学・生物の3分野に分かれ，探究活動や課題研究等で活用できる観察・実験に取り組むとともに，その指導方法について学びます。</p> <p>【実践発表・協議】 理科の教科指導に関する実践発表を行い，その内容について協議します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校5年経験者研修（理科）対象者，自由応募とも課題あり（p.58参照） ・申し込みにあたっては，講義・実習の分野（物理・化学・生物の中から一つ）を選択してください。 ・課題の詳細については，6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	57 生活科講座		
ねらい	主体的・対話的で深い学びの実現に向け，気づきの質を高める授業を創造するための指導法と評価の在り方について，講義・演習等を通して具体的に学ぶことにより，指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】小学校5年経験者研修対象者（生活選択者）は，教科別研修として本講座を必ず受講してください。 【自由応募】小学校，特別支援学校の教員	予定人数	20人
5年研指定		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月19日（月） 9:30～16:30 愛知教育大学 第一共通棟202号	<p>【講義：生活科教育の在り方～新学習指導要領「生活科」の解説と課題～】 現行の学習指導要領と新学習指導要領を比較し，学習指導要領の目標や内容，指導上の留意点，評価について，具体的事例を通して学びます。</p> <p>【協議：生活科指導で悩むこと】 1学期の授業実践報告を基に，日頃の生活科指導での悩みを共有し，講師の助言を受けながら，その解決方法について検討します。</p> <p>【講義・演習：生活科の評価の在り方～生活科学習で大切にしたいこと～】 指導と評価の一体化の観点から，具体例を基によりよい評価の在り方について検討します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.58参照） ・持参する課題の部数については，6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 ・駐車場の用意ができません。公共交通機関を利用してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	58-A 保健体育科講座 小中学校コース		
ねらい	小学校体育科及び中学校保健体育科の指導方法の理解を深めるとともに、授業改善の具体的な事例についての実技や協議を通して、教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】小学校5年経験者研修対象者（体育選択者）及び中学校5年経験者研修（保健体育科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	100人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
7月31日（水） 9:30～16:30 愛知教育大学 受付：教育未来館 多目的ホール	<p>【講義：これからの体育，技能向上を目指す指導法について】 学習指導要領を基に体育科の授業，指導法についての理解を深めます。</p> <p>【実技：器械運動，ダンスの考え方について】 器械運動，ダンスにおける具体的な指導方法について理解を深めます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.58参照） ・運動のできる服装，体育館シューズを持参してください。 ・追加連絡等については，6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 ・駐車場の用意ができません。公共交通機関を利用してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	58-B 保健体育科講座 高等学校・特別支援学校コース		
ねらい	高等学校・特別支援学校保健体育科の体育実技指導技術の向上を図るとともに、学習指導要領のねらいについて理解を深めます。		
対象者	【指定】高等学校5年経験者研修（保健体育科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。 【自由応募】高等学校，特別支援学校の保健体育科教員	予定人数	40人
5年研指定		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
7月24日（水） 9:30～16:30 愛知教育大学 受付：保健体育棟 体育講義室 I	<p>【講義：保健体育科の教師としての力量向上に向けてⅠ，Q&A解説】 保健体育科の評価や生涯スポーツ理念を具体化する授業の在り方など教科指導上の課題をテーマに，力量向上のための方策を検討します。</p> <p>【講義・演習：保健体育科の教師としての力量向上に向けてⅡ】 保健体育科が抱える今日的課題や部活動の指導・運営等をテーマにして，体育教師としての力量向上の方策を検討します。</p> <p>【実技：体づくり運動・球技（ゴール型）】 体づくり運動，球技（ゴール型）における具体的な指導法について理解を深めます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.58参照） ・運動のできる服装，体育館シューズを持参してください。 ・追加連絡等については，6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 ・駐車場の用意ができません。公共交通機関を利用してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	59-A 音楽科講座 小学校コース		
ねらい	楽曲分析や創作の基礎知識を学ぶことを通して、音楽科の授業展開についての理解を深めるとともに、指揮の実技演習を通して指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】小学校5年経験者研修対象者（音楽選択者）は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。 【自由応募】小学校、特別支援学校小学部の教員	予定人数	45人
5年研指定		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月26日（月） 9:30～16:30 愛知教育大学音楽棟	<p>【講義：楽曲分析の進め方】 和音進行や音階、創作の基礎知識を学び、教科書の共通教材等さまざまな楽曲を分析することを通して、音楽科の授業展開についての理解を深めます。</p> <p>【講義・実習：指揮法について】 楽曲についての具体的な指揮を通して、指揮における基本動作を学びます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・会場の詳細、持ち物等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 ・駐車場の用意ができません。公共交通機関を利用してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	59-B 音楽科講座 中学校・高等学校コース		
ねらい	楽曲分析や創作の基礎知識を学ぶことを通して、音楽科の授業展開についての理解を深めるとともに、指揮の実技演習を通して指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】中学校、高等学校の5年経験者研修（音楽科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。 【自由応募】中学校、高等学校、特別支援学校中学部・高等部の音楽科教員	予定人数	20人
5年研指定		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月27日（火） 9:30～16:30 愛知教育大学音楽棟	<p>【講義：楽曲分析の進め方】 和音進行や音階、創作の基礎知識を学び、教科書の共通教材等さまざまな楽曲を分析することを通して、音楽科の授業展開についての理解を深めます。</p> <p>【講義・実習：指揮法について】 楽曲についての具体的な指揮を通して、指揮における基本動作を学びます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・会場の詳細、持ち物等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 ・駐車場の用意ができません。公共交通機関を利用してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	60 図画工作・美術科講座		
ねらい	図画工作科・美術科を指導している教員に対して、学習指導要領のねらいについて理解を深めさせるとともに、実技指導を通して指導力の向上を図ります。		
対象者 5年研指定	【指定】小学校5年経験者研修対象者（図画工作選択者）及び中学校、高等学校の5年経験者研修（美術科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。 【自由応募】小学校、特別支援学校の教員及び中学校、高等学校の美術科教員	予定人数	30人
		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月20日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 多目的ホール	<p>【講義：図画工作科・美術科の指導者として大切にしたいこと】 学習指導要領を踏まえ、図画工作科・美術科の指導者として、大切にすべきことを提案します。</p> <p>【講義・演習・実習】 「鑑賞活動」「身体を通じた表現活動」の二つのワークショップを通して、表現と鑑賞の関連、教材研究の考え方、授業づくりの視点、支援の在り方、評価の観点などについて考えます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・持ち物 汚れてもよい服装（更衣室あり） タオル、帽子、日焼け止め、水筒など屋外での活動ができる用意 ・持ち物や材料費等については、追加される場合があります。6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	61 小学校外国語科講座		
ねらい	コミュニケーション能力を育む授業づくり及び小学校外国語における新教材の活用や指導方法について、講義及び研究協議を通して学び、指導力の向上を図ります。		
対象者 5年研指定	【指定】小学校の5年経験者研修（外国語科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。	予定人数	60人
		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
7月29日（月） 9:30～16:30 総合教育センター 講堂他	<p>【講義：これからの英語教育に求められるもの】 小学校・中学校・高等学校の連携など、今後の英語教育の方向性や課題等について、理解を深めます。</p> <p>【講義・演習：言語活動の指導の在り方】 授業で行う言語活動について、改善の方策を学びます。</p> <p>【協議：コミュニケーション能力を育む授業の工夫】 持ち寄った課題を基に小グループでの協議を行い、コミュニケーション能力を育む授業の在り方や小学校外国語における新教材の活用や指導方法について考えます。</p>		
備 考	・課題あり（p.58参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	62 英語科講座		
ねらい	コミュニケーション能力を育む授業づくり及び中学校・高等学校の連携の在り方について、講義及び研究協議を通して学び、指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】中学校、高等学校の5年経験者研修（英語科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。	予定人数	110人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
7月29日（月） 9:30～16:30 総合教育センター 講堂他	<p>【講義：これからの英語教育に求められるもの】 小学校・中学校・高等学校の連携など、今後の英語教育の方向性や課題等について、理解を深めます。</p> <p>【講義・演習：言語活動の指導の在り方】 授業で行う言語活動について、改善の方策を学びます。</p> <p>【協議：コミュニケーション能力を育む授業の工夫】 持ち寄った課題を基に小グループでの協議を行い、コミュニケーション能力を育む授業の在り方や中高連携の在り方について考えます。</p>		
備 考	・課題あり（p.59参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	63 技術科講座		
ねらい	中学校「技術・家庭科」技術分野において、教材開発や評価方法等に関する講義・演習を通して、実践的指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】中学校5年経験者研修（技術科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。 【自由応募】中学校、特別支援学校の技術科教員	予定人数	15人
5年研指定		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
7月25日（木） 9:30～16:30 愛知教育大学 美術・技術・家政棟 1階会議室他	<p>【講義・演習：技術科教育の目指すもの】 「工夫・創造」の観点における評価の在り方について、具体的な事例を基に講義を行います。生徒が記述したワークシートを各自持ち寄り、評価の信頼性や妥当性について、演習を通して実践的に学びます。</p> <p>【講義・演習：技術科の授業づくりと教材】 教材開発や授業づくりに欠かせない視点について、具体的な事例を基に講義・演習を行います。また、設計・計画の段階において必要に応じて整備が求められている3Dプリンタに関する講義・演習も行います。</p> <p>【協議：新学習指導要領移行期間中の対応】 新学習指導要領移行期間中の対応について、実践報告を基に協議します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.59参照） ・「工夫・創造」の観点について評価をしたワークシートを持参してください（生徒の記述があるもので、A・B・Cの評価基準が分かるように、それぞれ1枚ずつ持参してください。なお、氏名等の個人情報には消しておいてください）。 ・上記以外の持ち物等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 ・駐車場の用意ができません。公共交通機関を利用してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	64-A 家庭科講座 小中学校コース		
ねらい	講義や協議を通して、新学習指導要領を踏まえた指導の在り方及び家庭科教育に関する今日的課題について理解を深め、指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】小学校5年経験者研修対象者（家庭選択者）、中学校5年経験者研修（家庭科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	30人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
7月24日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 第2講義室	<p>【講義：家庭科における今日的課題】 新学習指導要領の内容を踏まえ、今日的な課題に対応した指導の在り方について理解を深めます。</p> <p>【協議：題材開発と指導の工夫】 講義や課題に対する協議を通して、題材開発と指導の工夫について考えます。</p> <p>【講義・演習：家庭科教育に関する指導の工夫】 教材開発例の紹介と演習を通して、家庭科教育の指導法について理解を深めます。これからの教材研究の参考となるように実物等を交えた講義・演習を行います。</p>		
備 考	・課題あり（p.59参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	64-B 家庭科講座 高等学校コース		
ねらい	講義や協議、実習を通して、新学習指導要領を踏まえた指導の在り方及び家庭科教育に関する今日的課題について理解を深め、指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】高等学校5年経験者研修（家庭科）対象者は、教科別研修として本コースを必ず受講してください。	予定人数	15人
5年研指定		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
7月25日（木） 9:30～16:30 総合教育センター 調理実習室他	<p>【講義・協議：家庭科における今日的課題】 新学習指導要領の内容を踏まえ、指導と評価の在り方について理解を深めます。</p> <p>【実習：調理実習】 調理の基礎・基本を押さえた「おもてなし料理」を実習します。</p> <p>【講義・演習：家庭科教育に関する指導の工夫】 教材開発例の紹介と演習を通して、家庭科教育の指導法について理解を深めます。これからの教材研究の参考となるように実物等を交えた講義・演習を行います。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.59参照） ・材料費として、1,000円程度集金します。 ・調理実習着、布きんを持参してください。 ・実習で調理したものを昼食とします（昼食持参不要）。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	65 情報科講座		
ねらい	I o Tの計測，データ分析技術などを通して，最先端の技術や研究成果を学びます。また，大学や企業が求める人材について知り，教科において，これからの社会で必要となる情報活用能力の育成の指導力向上を図ります。		
対象者 5年研指定	【指定】高等学校5年経験者研修（情報科）対象者及び高等学校10年経験者研修（情報科）対象者は，教科別研修（教科指導研修）として本講座を必ず受講してください。 なお，本講座は高等学校10年経験者研修（情報科）・教科指導研修の3日目となります。 【自由応募】高等学校の教員	予定人数	15人
		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月23日（金） 9:30～16:30 愛知県立大学	<p>【講義：コンピュータとインターネットの「哲学」の必要性】 情報技術の進展について，哲学的な見地から考察し，新たな価値を創造していくために，これからの社会で必要となる情報活用能力の育成を考えます。</p> <p>【講義・実習：I o Tの計測・データ分析技術と教育応用】 データ計測の具体的な事例を参考に，教育への応用の可能性を展開します。また，最先端の研究について触れ，高等学校での情報教育の在り方を考えます。</p> <p>【協議：新学習指導要領を見据えた授業実践事例と授業改善】 授業実践報告を基に，問題解決学習における授業での工夫について協議します。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・5年経験者研修対象者のみ，課題あり（p.60参照） ・集合場所等については，6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	66 農業科講座		
ねらい	農業機械の取り扱いに関する実習を通して、実践力の向上を図るとともに、学習指導要領を踏まえた教科「農業」の学習内容や農業教育の現状と課題について理解を深めます。		
対象者	【指定】高等学校5年経験者研修（農業科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。	予定人数	3人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
8月9日（金） 9:30～16:30 ・集合時刻 9:20 農業教育共同実習所	<p>【実技講習：農業機械の取り扱い】 トラクタの点検と作業機の着脱、歩行用トラクタの基本運転と耕うん作業の実習を通して、実践力の向上を図ります。</p> <p>【講義・演習：学習指導要領について】 学習指導要領の内容を踏まえ、教科「農業」のポイントについて理解を深めます。</p> <p>【講義・演習：実験・実習の改善の工夫と今後の課題について】 学習指導案による実践を通して、実験・実習の改善の工夫と今後の課題について理解を深めます。</p> <p>【講義：農業教育の現状と課題】 農業教員として求められることについて理解を深め、農業教育の魅力ある取組や今後の課題について学びます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.60参照） ・昼食及び実習のできる服装、靴、帽子を持参してください。 ・紫外線対策として、屋外での実習はサングラス等を着用しての受講を認めます。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	67 工業科講座		
ねらい	工業科における教科指導の在り方や指導方法について理解を深め、教科指導力及び実践力の向上を図ります。		
対象者	【指定】高等学校5年経験者研修（工業科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。	予定人数	20人
5年研指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
7月31日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 第9講義室	<p>【講義：教科指導の計画と実践】 工業科の目標を踏まえた科目の指導計画を立案するとともに、その実践の在り方について理解を深めます。</p> <p>【研究協議：教科指導上の課題と方策】 教科指導力の充実に向けた実践事例を踏まえ、授業改善を図る方策について理解を深めます。</p> <p>【実習・協議：ものづくり実習を通じた課題解決学習の実践】 実習を通して、創造的な能力と実践的な態度を育てることを目指します。併せて、ものづくりの基本となる考え方や取り組み方についても理解を深めます。</p>		
備 考	・課題あり（p.60参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	68 商業科講座		
ねらい	主体的学習とアクティブ・ラーニングに関する指導技法を習得することで、授業改善や新たな授業デザインの提案に必要な教科指導力の向上を図ります。		
対象者 5年研指定	【指定】高等学校5年経験者研修（商業科）対象者及び高等学校10年経験者研修（商業科）対象者は、教科別研修（教科指導研修）として本講座を必ず受講してください。 なお、本講座は高等学校10年経験者研修（商業科）・教科指導研修の3日目となります。 【自由応募】高等学校、特別支援学校の商業科教員	予定人数	30人
		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月2日（金） 9:30～16:30 椋山女学園大学	【講義・演習：主体的学習とアクティブ・ラーニング】 教科「商業」の「マネジメント分野」「マーケティング分野」における主体的な学習のために、アクティブ・ラーニングを用いた具体的な指導方法と留意点を理解し、教材を用いた実践につなげます。		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・駐車場の用意ができません。公共交通機関を利用してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	69 海洋環境学習講座		
ねらい	実習船「愛知丸」に乗船し、三河湾を周航しながら海洋調査をすることによって、海の環境に関する理解を深め、環境学習の推進者を育成することを目指します。		
対象者 5年研指定	【指定】高等学校5年経験者研修（水産科）対象者は、教科別研修として本講座を必ず受講してください。 【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	18人
		自由応募	あり （10人程度）
期日・時間・会場	内 容 等		
7月31日（水） 9:30～16:30 ・集合時刻、場所 9:20 蒲郡市港町 竹島埠頭 実習船「愛知丸」	【見学・実習・調査・観察】 船の施設・設備の見学、海洋観測調査実習、顕微鏡観察によるプランクトンの同定等を行い、海の環境について学びます。 【講義・協議：三河湾の環境と漁業、環境学習の在り方】 講義を通して三河湾の環境と漁業について理解を深め、環境学習の取組や今後の課題について協議します。		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・実習のできる服装（作業着、体育服等）を持参してください。 ・持ち物等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	70 看護科講座		
ねらい	講義や協議を通して、学習指導要領を踏まえた指導と評価の在り方及び看護科教育に関する現状と課題について理解を深め、指導力の向上を図ります。		
対象者 5年研指定	【指定】高等学校5年経験者研修（看護科）対象者及び高等学校10年経験者研修（看護科）対象者は、教科別研修（教科指導研修）として本講座を必ず受講してください。 なお、本講座は高等学校10年経験者研修（看護科）・教科指導研修の3日目となります。 【自由応募】私立高等学校を含む高等学校の看護科教員	予定人数	40人
		自由応募	あり
期日・時間・会場	内 容 等		
8月9日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室	<p>【講義：ナラティブ・アプローチ～生徒の主体性を引き出す問いかけ～】 ナラティブ・セラピーの考え方やアプローチに触れ、生徒の主体性を引き出し、問題を外在化する質問技法について体験します。</p> <p>【協議：看護教育の現状と課題】 看護教育に関する最新の情報を共有し、看護科が抱える課題の解決に向けた方策を協議します。</p>		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	71 福祉科講座		
ねらい	講義や演習を通して、新学習指導要領を踏まえた指導と評価の在り方及び対人援助について理解を深め、指導力の向上を図ります。		
対象者 5年研指定	【指定】高等学校5年経験者研修（福祉科）対象者及び高等学校10年経験者研修（福祉科）対象者は、教科別研修（教科指導研修）として本講座を必ず受講してください。 なお、本講座は高等学校10年経験者研修（福祉科）・教科指導研修の2日目となります。 【自由応募】高等学校の福祉科教員、高等学校の福祉科目及び家庭科目「生活と福祉」の担当教員	予定人数	10人
		自由応募	あり（若干名）
期日・時間・会場	内 容 等		
8月2日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 研究討議室	<p>【講義・演習：新学習指導要領を踏まえた授業改善の視点】 新学習指導要領の内容を踏まえ、授業と評価の在り方について理解を深め、改善の方策を学びます。</p> <p>【講義：心を育てる介護福祉教育】 自分の心を感じて表現すること、相手の心を感じて受け入れることを通して、利用者に寄り添うケアの素地づくりを目指します。</p>		
備 考	・課題あり（p.60参照）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	72 学校農園活用講座		
ねらい	学校で栽培する野菜や草花，飼育する小動物や造園・木材加工等について基礎的な知識・技術の習得を目指します。また，それらを教材として活用した効果的な指導方法について理解を深め，指導力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数 (自由応募)	20人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月23日(金) 9:30~16:30 ・集合時刻 9:20 安城農林高等学校	<p>【講義・実習：草花の活用について】 学校花壇に植栽する草花（主に花壇苗）の基礎的な栽培・管理方法について学び，それらを教材として活用した実習をします。</p> <p>【講義・実習：野菜の活用について】 学校農園で栽培可能な野菜の栽培・管理方法，土の作り方，病害虫防除等について学び，それらを教材として活用した実習をします。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・材料費は，自己負担です。 ・実習のできる服装，帽子，軍手を持参してください。 ・本講座は，「野菜」「草花」「小動物」「造園・木材加工」の部門について，ローテーションで実施します。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	73 安全教育実技講座（小型車両系建設機械運転業務特別教育講習）		
ねらい	小型車両系建設機械の基本運転や基本操作を行い，安全運転に関する知識・技能を高め，安全教育の充実と教科指導力の向上を図ります。 労働安全衛生法に基づく特別教育を実施し，修了証を交付します。		
対象者	【自由応募】高等学校，特別支援学校の産業教育関係学科教員	予定人数 (自由応募)	10人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月7日(水) 9:00~16:30 ・集合時刻 8:50 農業教育共同実習所	<p>【学科講習】 ブルドーザ，ホイールローダ，ドラグショベルに関する構造や機能，点検・整備・輸送方法の他，災害事例や関係法令などについて研修します。</p>		
8月8日(木) 9:00~16:30 ・集合時刻 8:50 農業教育共同実習所	<p>【学科試験】 関係法令及び小型車両系建設機械に関する内容について，学科試験を行います。</p> <p>【実技講習】 ブルドーザ，ホイールローダ，ドラグショベルに関する基本操作や運転（基本運転・作業運転）について，実技講習を行います。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・研修初日に，テキスト代金1,400円を集金します。 ・本講座は，4年間のローテーション（〔小型車両系建設機械運転業務特別教育講習（本年度）〕→〔フォークリフト運転業務特別教育講習〕→〔刈払機及び振動工具（チェーンソー以外）安全衛生教育講習〕→〔大型特殊自動車運転免許取得講習〕）で実施します。 ・昼食及び実習のできる服装，靴，帽子を持参してください。 ・紫外線対策として，屋外での実習はサングラス等を着用しての受講を認めます。 		
問い合わせ先	農業教育共同実習所 電話 0566-76-4071		

講座・コース名	74 保育技術講座		
ねらい	講義や研究協議等によって、幼児の発達課題や特性に応じた保育を進めるために必要な専門技術を身に付け、指導力の向上を図ります。		
対象者	【指定】・国公立幼稚園の主任（主査）及び中堅教員 ・公私立保育所の主任及び中堅保育士 ・公私立認定こども園の主任及び中堅教員、保育士、保育教諭（以上、全て名古屋市を含む）	予定人数	55人
地区指定		自由応募	なし
期日・時間・会場	内 容 等		
8月2日（金） 8月5日（月） 9:30～16:30 総合教育センター 第11講義室	<p>【講義・協議：幼児の発達する姿とその捉え方】</p> <p>【講義・協議：幼児理解の重要性】 幼児の発達を踏まえた幼児理解やその視点等についての講義・グループ協議を通して、日々の保育に役立つ知識・方法等を学びます。</p> <p>-----</p> <p>【講義・協議：幼児教育における指導—小学校への生活や学びの連続性を考える—】 幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、子どもや社会の変化に対応した幼児教育、小学校への連続性を意識した保育、保育者の資質と専門性等について学びます。</p> <p>【講義・協議：カウンセリングマインドに基づく幼児教育】 カウンセリングマインドを生かした幼児教育について、ロールプレイの実習を通して、幼児・保護者への対応の仕方を学びます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題あり（p.60参照） ・各園の教育課程、保育課程または全体の計画を持参してください。 		
問い合わせ先	研修部 基本研修室 電話 0561-38-9507		

講座・コース名	75-A 特別支援教育講座 ユニバーサルデザインの授業セミナー		
ねらい	通常の学級における発達障害幼児児童生徒の理解を深め、支援・指導に関する知識・技能の習得を図るとともに、学級全体を視野に入れた支援・指導の在り方について学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数 (自由応募)	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月31日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 第1講義室他	<p>【講義：ユニバーサルデザインの授業づくり】 通常の学級における発達障害幼児児童生徒への理解と対応について、また、学級全体を視野に入れた支援・指導の在り方について理論を学び、実践力を高めます。</p> <p>【実践報告・協議：通常の学級における発達障害幼児児童生徒への支援・指導の実際】 通常の学級における発達障害のある幼児児童生徒に対する生活面・学習面の支援・指導の在り方、及び全ての幼児児童生徒が「できる」「分かる」授業づくりについて、実践報告を基に理解し、その対応について協議します。</p>		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	75-B 特別支援教育講座 自立活動セミナー		
ねらい	自立活動に関する基礎的な知識・技能の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数 (自由応募)	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月2日(金) 9:30~16:30 総合教育センター 大講義室他	【実技：自立活動】 ①視覚障害コース ②聴覚言語障害コース ③知的障害コース ④肢体不自由コース ⑤病弱・身体虚弱コース 【講義・協議：自立活動の実際】 自立活動についての支援・指導の工夫を学び，授業における配慮など，障害に応じた総合的な幅広い実践力を高めます。		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・希望するコースが一つである場合は，専門研修（自由応募制）希望者名簿の「備考」欄に希望するコース番号（①～⑤）を記入してください。希望するコースが二つある場合は，「備考」欄に希望するコース番号（①～⑤）を，左から希望順に第2希望まで記入してください。 （例）第1希望が知的障害で，第2希望が視覚障害の場合，名簿の「備考」欄には，「③，①」のように記入してください。 ・①の受講希望者は，アイマスクを持参してください。 ・④の受講希望者は，バスタオル1枚，ジャージなどの動きやすい服装を持参してください。 ・特別支援学校10年経験者研修（専門領域研修3日目）と合同で開催します。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	75-C 特別支援教育講座 重複障害児教育セミナー		
ねらい	重複障害児の理解と支援・指導に関する知識の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数 (自由応募)	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月24日(水) 9:30~16:30 総合教育センター 講堂他	【講義：重症心身障害者の生活支援】 民間施設での具体的な取組を通して，重複障害児教育について理解を深めます。 【選択講義：重複障害児教育の実際】 ①知的障害を主とする重複障害 ②肢体不自由を主とする重複障害 ③視覚障害・聴覚障害を主とする重複障害		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題なし ・希望する選択講義が一つである場合は，専門研修（自由応募制）希望者名簿の「備考」欄に希望する選択講義の番号（①～③）を記入してください。希望する選択講義が二つある場合は，「備考」欄に希望する選択講義の番号（①～③）を，左から希望順に第2希望まで記入してください。 （例）第1希望が肢体不自由で，第2希望が知的障害の場合，名簿の「備考」欄には，「②，①」のように記入してください。 ・特別支援学校10年経験者研修（専門領域研修2日目）と合同で開催します。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	75-D 特別支援教育講座 アセスメントセミナー1 (KABC-II)		
ねらい	幼児児童生徒の理解と支援・指導につながる心理検査に関する基礎的な知識・技能及び解釈・活用の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校の教員	予定人数 (自由応募)	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月23日(火) 9:30~16:30 総合教育センター 第4講義室	【講義：KABC-IIについての基礎的な知識・実技技能】 KABC-IIについて基礎的な知識(実施・採点方法, 結果の処理等)を学びます。 【講義・演習：事例による解釈・活用】 KABC-IIの検査結果についての基礎的な解釈を学びます。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	75-E 特別支援教育講座 アセスメントセミナー2 (WISC-IV)		
ねらい	幼児児童生徒の理解と支援・指導につながる心理検査に関する基礎的な知識・技能及び解釈・活用の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校の教員	予定人数 (自由応募)	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月23日(金) 9:30~16:30 総合教育センター 第5講義室	【講義：WISC-IVについての基礎的な知識・実技技能】 WISC-IVについて基礎的な知識(実施・採点方法, 結果の処理等)を学びます。 【講義・演習：事例による解釈・活用】 WISC-IVの検査結果についての基礎的な解釈を学びます。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	75-F 特別支援教育講座 アシスティブテクノロジーセミナー		
ねらい	特別な教育的ニーズのある児童生徒の支援・指導のために必要なアシスティブテクノロジーについて理解を深め, 実際の教育の場面で活用できることを目指します。		
対象者	【自由応募】幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校の教員	予定人数 (自由応募)	30人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月29日(月) 9:30~16:30 総合教育センター 第7講義室	【講義：ICT機器の効果的な活用】 特別な教育的ニーズのある児童生徒の支援のために必要なICT機器の効果的な活用等について学びます。 【演習：ICT機器の活用の基礎(タブレット端末の活用含む)】 ICT機器を活用した具体的な支援・指導の工夫等について学びます。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	76 いじめ・不登校などの諸問題に対応する教育相談講座		
ねらい	教育相談を中心となって担当する上で必要な理論・技法及び姿勢を学び、教育活動に生かすことができる力を養います。		
対象者	【指定及び自由応募】小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員で各学校の教育相談を推進する者	予定人数	50人
地区指定		自由応募	あり（10人程度）
期日・時間・会場	内 容 等		
6月28日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 第10講義室他	<p>【講義：スクールソーシャルワークの立場から見た児童生徒の問題解決について】 スクールソーシャルワークの視点で児童生徒の支援をどのように進めるのか、具体的な対応を学びます。</p> <p>【研究協議：スクールソーシャルワークの理解と事例検討会実習】 模擬事例検討会を通して、スクールソーシャルワークの視点による支援の在り方について学びます。</p>		
7月31日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 大講義室	<p>【講義・協議：不登校についての理解と支援】 不登校の原因及び経過の段階について理解し、支援の仕方を学びます。</p> <p>【講義・協議：特別な支援を必要とする子どもたちの理解とその対応】 児童生徒の発達・成長をチームで支援するために必要な心理臨床の知見や姿勢、具体的な対応について学びます。</p>		
10月4日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室	<p>【講義：ネット依存について】 依存症の本質や脳への影響を理解し、依存症を予防するための具体的な方法について学びます。</p> <p>【講義・実習：ネット・スマホ・ケータイと子どもの安全】 ネット・スマホ・ケータイの正しい利用の仕方と危険性について理解し、現在増加しつつある諸問題について考えます。</p> <p>【講義・実習：いじめに対して学校ができること】 さまざまないじめ問題について、教育相談の立場からその解明や対応・予防について学びます。</p>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。 ・各学校で使用しているいじめ実態調査に関するアンケート用紙、もしくは、いじめに関する内容を問う項目が含まれているアンケート用紙を初回に持参してください。 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座名	77 コンピュータ活用講座	
ねらい	日常の教育活動において有用なコンピュータの活用及び情報教育に関するICT (Information and Communication Technology) 能力の向上を図ります。この講座では、コンピュータ実習を通して、コンピュータの教育利用ができるようになることを目指します。	
コース	プログラミング教育、ウェブページ作成入門など、8コースがあります。 なお、A1・A2、D1・D2コースは、それぞれ同一の内容で実施します。	
難易度	一般的な難易度を3段階で表しています(★が多いほど難)。	
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員(事務職員を含む) ※一部に、対象者が指定されているコースがあります。	
コースの選択	開催日時が重複しない2コースまで希望することができます。各コースの難易度を参考にしながら、コンピュータに関する知識・経験に応じて選択してください。 ただし、 <u>一人の受講者が三つ以上のコースを希望することはできません</u> 。 なお、同一内容の2コースのうちいずれかを希望する際は、第1希望、第2希望も決めてください。 ※各コースの詳細は、p.43～p.46を御覧ください。	
コンピュータ活用講座に関する問い合わせ先		
・講座の申し込みに関すること	研修部 企画研修室	0561-38-9506
・研修内容、難易度等に関すること	情報教育部 情報教育研究室	0561-38-9510

■コンピュータ活用講座の申し込み方法について

日程及びコース内容を確認の上、以下の【申し込み記入例】を参考にして、「専門研修(自由応募制)希望者名簿」の「コース記号」欄に、希望するコース記号を記入してください。

■2コースを受講希望する場合

開催日時が重複しない二つのコースを希望する場合、応募状況及び実習室の収容人員に余裕があれば、「2コースとも受講可」となる場合があります。

■【申し込み記入例】平成31年度専門研修(自由応募制)希望者名簿(様式2, 3, 6)

〔記入例1〕「A1 小学校プログラミング教育」の1コースを希望する場合

研修番号	講座名	コース等記号	職名	氏名	備考
77	コンピュータ活用講座	A1	教諭	愛知 一子	

〔記入例2〕「B 中学校プログラミング教育」と「E 表計算ソフトの応用」の2コースを希望する場合

研修番号	講座名	コース等記号	職名	氏名	備考
77	コンピュータ活用講座	B	教諭	東郷 太郎	BEの2コース希望
77	コンピュータ活用講座	E	教諭	東郷 太郎	BEの2コース希望

〔記入例3〕「D1 タブレット端末の入門(iPad編)」と「D2 タブレット端末の入門(iPad編)」のいずれか及び「F データベースの活用」の2コースを希望する場合

研修番号	講座名	コース等記号	職名	氏名	備考
77	コンピュータ活用講座	D1	養護教諭	諸輪 花子	D1・D2のいずれか希望、D1が第2
77	コンピュータ活用講座	D2	養護教諭	諸輪 花子	D1・D2のいずれか希望、D2が第1
77	コンピュータ活用講座	F	養護教諭	諸輪 花子	D・Fの2コース希望

■使用予定ソフトの登録商標等について(eラーニング単独講座を含む)

- ScratchはMITメディア・ラボのライフロング・キンダーガルトン・グループによって開発されました。
詳しくは<http://scratch.mit.edu>を御参照ください。
- ホームページ・ビルダーは(株)ジャストシステムの商標です。
- Windows, Word, Excel, PowerPoint, Accessは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、製品名等は、一般にメーカーの商標または登録商標です。

コンピュータ活用講座一覧表


期日	曜	コース記号・コース名	難易度	備考
7月30日	火	A1 小学校プログラミング教育	★	※1 A2と同一内容
8月5日	月	A2 小学校プログラミング教育	★	※1 A1と同一内容
8月8日	木	B 中学校プログラミング教育	★	※2
7月31日	水	C ウェブページ作成入門	★	※4
7月25日	木	D1 タブレット端末の入門 (iPad 編)	★★	※3 D2と同一内容
7月26日	金	D2 タブレット端末の入門 (iPad 編)	★★	※3 D1と同一内容
8月2日	金	E 表計算ソフトの応用	★★★★	※4
8月1日	木	F データベースの活用	★★★★	※4
会 場	総合教育センター教育情報棟2階 情報実習室			
時 間	9:30～16:30 (受付時間は、各コースとも9:00～9:30)			
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのコースも課題なし ・作成するファイルの持ち帰りを希望される場合は、<u>USBメモリ等の媒体を持参</u>してください。持参する媒体については、学校で使用及び持ち出しを許可されたもので、ウイルスチェックを済ませた、何も保存されていない媒体とします。また、総合教育センターウェブページから「<u>情報端末等持ち込み使用管理票</u>」を<u>ダウンロードし、必要事項を記入して、研修当日に提出</u>をお願いします。 			

※1：対象者は、小学校，特別支援学校（小学部）の教員です。

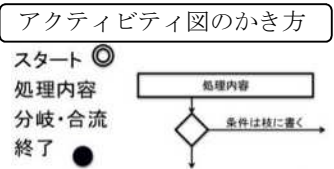

※2：対象者は、中学校，特別支援学校（中学部）の教員です。

※3：対象者は、幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員です。

※4：対象者は、幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教職員です。

コース名	77-A1, A2 小学校プログラミング教育	難易度	★
ねらい	プログラミング教育についての理解を深め、児童のプログラミング的思考につながる論理的思考力を育てるために、各教科等の特質に応じた教材の開発や授業づくり、授業改善を目指します。		
対象者等	【自由応募】小学校の教員、特別支援学校（小学部）の教員		
コース記号	期 日 ・ 時 間	予定人数（自由応募）	
A1	7月30日（火）9:30～16:30	40人	
A2	8月5日（月）9:30～16:30	40人	
講座例		研修内容	
<p>スクラッチによるプログラミング例</p> 		<p>【講義：プログラミング教育が目指すもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科等の目標・内容を踏まえた指導の考え方 アンプラグドプログラミング <p>【講義・実習：スクラッチによるプログラミングⅠ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 順次型プログラム 分岐（場合分け）型プログラム 繰り返し型プログラム <p>【講義・実習：スクラッチによるプログラミングⅡ】</p> <ul style="list-style-type: none"> スクラッチによるゲームの作成 スクラッチによる授業での活用方法の検討 	
使用ソフト等	Scratch		

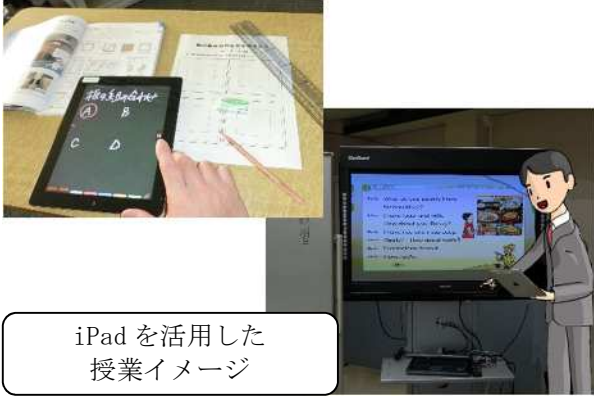
◆作成するファイルの持ち帰りを希望される場合は、USBメモリ等の媒体の持参、及び、「情報端末等持ち込み使用管理票」の提出をお願いします（p.42備考参照）。

コース名	77-B 中学校プログラミング教育	難易度	★
ねらい	プログラミング教育についての理解を深め、生徒のプログラミング的思考につながる論理的思考力を育てるために、技術科の教材開発や授業づくり、授業改善を目指します。		
対象者等	【自由応募】中学校の教員、特別支援学校（中学部）の教員		
コース記号	期 日 ・ 時 間	予定人数（自由応募）	
B	8月8日（木）9:30～16:30	40人	
講座例		研修内容	
<p>アクティビティ図のかき方</p>  <p>スクラッチによるプログラミング例</p> 		<p>【講義・実習：技術科 情報の技術で扱うプログラミング】</p> <ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるプログラミング ネットワークを利用したプログラミング 計測・制御を目的としたプログラミング <p>【講義・実習：スクラッチによるプログラミング】</p> <ul style="list-style-type: none"> 順次型プログラム 分岐（場合分け）型プログラム 繰り返し型プログラム <p>【講義・実習：授業での効果的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業で活用できる計測・制御の紹介、実習 活用方法の検討 次期学習指導要領に合致する実践検討 	
使用ソフト等	Scratch 他		


◆作成するファイルの持ち帰りを希望される場合は、USBメモリ等の媒体の持参、及び、「情報端末等持ち込み使用管理票」の提出をお願いします（p.42備考参照）。

コース名	77-C ウェブページ作成入門	難易度	★
ねらい	ウェブページ作成ソフトを利用して、ウェブページ作成の基礎を習得します。また、ウェブページを公開することの意義や留意点などを学び、効果的な情報の発信ができるようになることを目指します。		
対象者等	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教職員 ＜Windowsの基本的な操作ができる者＞		
コース記号	期 日 ・ 時 間	予定人数（自由応募）	
C	7月31日（水） 9:30～16:30	20人	
講 座 例		研 修 内 容	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ウェブページ作成</div> 		<p>【講義・実習：インターネットとウェブページの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットとは ・HTMLの基礎知識 ・タグ入力によるウェブページの作成 <p>【講義・実習：ウェブページ作成ソフトウェアの利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページ作成ソフトの基本的な使い方 ・文字の入力と装飾 ・画像の挿入や表の作成 ・他ページへのリンク設定 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">メモ帳によるタグの入力例</div> <pre> <!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN" HTML> <HEAD> <META charset="utf-8" content="text/html; charset=utf-8"> <META name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0"> <META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css"> <TITLE>フレーム</TITLE> </HEAD> <FRAMESET border="1"> <FRAME src="xxx1.htm" name="left"> <FRAME src="xxx2.htm" name="right"> </FRAMESET> </BODY> </HTML> </pre>		<p>【講義・実習：さまざまな技法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ素材の作成 ・画像ファイルのサイズ最適化 <p>【講義・実習：ウェブページの公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサーバの仕組み ・作成データのアップロードと動作確認 <p>【講義・実習：学校のウェブページを公開することの意義と留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な情報発信の方法とその留意点 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">素材の利用</div> 			
使用ソフト等	ホームページ・ビルダー 他		

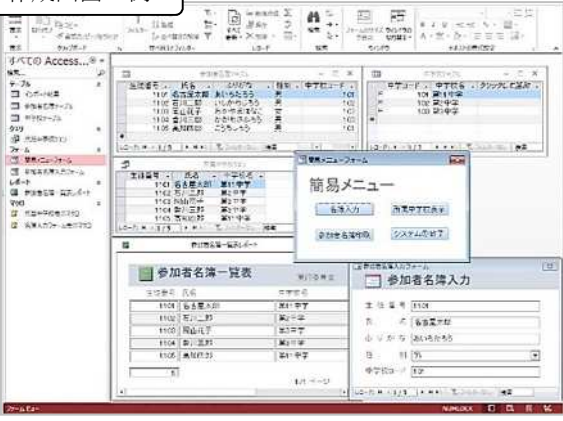
◆作成するファイルの持ち帰りを希望される場合は、USBメモリ等の媒体の持参、及び、「情報端末等持ち込み使用管理票」の提出をお願いします（p.42備考参照）。

コース名	77-D1, D2 タブレット端末の入門 (iPad 編)	難易度	★★
ねらい	タブレット端末 (iPad) の特徴を知り、基本的なアプリについて学びます。また、授業での効果的な活用を、実習を通して学びます。		
対象者等	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員		
コース記号	期 日 ・ 時 間	予定人数 (自由応募)	
D1	7月25日 (木) 9:30~16:30	20人	
D2	7月26日 (金) 9:30~16:30	20人	
講座例		研修内容	
 <p>iPadを活用した 授業イメージ</p>		【講義・実習：タブレット端末の特徴】 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の種類、機能、活用例 【講義・実習：タブレット端末 (iPad) について】 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクタ、大型ディスプレイとの接続 ・インターネットの利用 ・カメラ機能の紹介 ・簡単な教育用アプリ体験 【講義・実習：授業での効果的な活用】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業で活用できるアプリの紹介 ・活用方法の検討 ・アプリを用いての教材作成 ・アイデアの共有 	
使用ソフト等	Keynote, iMovie, Pages 他		

◆このコースでは、持ち帰りができるデータは提供しません。

コース名	77-E 表計算ソフトの応用	難易度	★★★
ねらい	表計算ソフトのさまざまな関数や操作を学び、校務などにおける効果的な表計算ソフトの活用ができるようになることを目指します。また、表計算ソフトのマクロ機能などによる、データ処理の自動化についても学びます。		
対象者等	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員 ＜Excelの基本的な操作を習得しており、かつ簡単な関数が利用できる者＞		
コース記号	期 日 ・ 時 間	予定人数 (自由応募)	
E	8月2日 (金) 9:30~16:30	40人	
講座例		研修内容	
 <p>Excelの作品例</p>		【講義・実習：表計算ソフトウェアの機能】 <ul style="list-style-type: none"> ・画面構成、セル参照 【講義・実習：関数の活用】 <ul style="list-style-type: none"> ・論理関数、条件式による集計、検索／行列関数 【講義・実習：データベース機能の活用】 <ul style="list-style-type: none"> ・並べ替えとフィルター ・フィルターと自動集計 ・ピボットテーブル 【講義・実習：マクロの活用】 <ul style="list-style-type: none"> ・マクロの概要 ・マクロ機能の利用 ・VBEによる編集 	
使用ソフト等	Microsoft Excel 他		

◆作成するファイルの持ち帰りを希望される場合は、USBメモリ等の媒体の持参、及び、「情報端末等持ち込み使用管理票」の提出をお願いします (p.42備考参照)。

コース名	77-F データベースの活用	難易度	★★★
ねらい	データベースの概念と基礎的な技術を習得し、データベースソフトを利用した基本的なデータ処理について学びます。		
対象者等	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員 ＜Excelの基本的な操作と関数が利用できる者＞		
コース記号	期 日 ・ 時 間	予定人数（自由応募）	
F	8月1日（木）9:30～16:30	40人	
講座例		研修内容	
		<p>【講義・実習：データベースの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース ・リレーショナル型データベース <p>【講義・実習：Accessの特徴と基本操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Accessの特徴 ・データベースの作成 <p>【講義・実習：リレーションシップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレーションシップの定義 ・リレーションシップの種類 <p>【講義・実習：選択クエリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルの結合，選択クエリ，抽出 <p>【講義・実習：データベースの管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ，データの交換 	
使用ソフト等	Microsoft Access 他		

◆作成するファイルの持ち帰りを希望される場合は、USBメモリ等の媒体の持参、及び、「情報端末等持ち込み使用管理票」の提出をお願いします（p.42備考参照）。

講座・コース名	78-A 職場のメンタルヘルス講座 eL (単独) 職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～		
ねらい	<p>学校現場には、さまざまな人間関係の悩みや専門職としての悩み、職務の多忙化等の背景からくるストレス要因があり、教職は仕事関連ストレスのレベルが高い職種と言われています。</p> <p>ストレスへの適切な対処と職場不適応の未然防止のためには、心の健康についての知識と理解を深めることが必要です。教職員一人一人が自分自身のアルコールとの付き合い方を見直すとともに、ストレスコントロールを上手に行えることをねらいとします。</p>		
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成31年度
学習期間	平成31（2019）年7月1日（月）～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>アルコールとの付き合い方を見直すとともに、ストレスコントロールを上手に行えることを学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アルコールについて 2 アルコール依存症で起きる脳の変化 その1 3 アルコール依存症で起きる脳の変化 その2 4 アルコール依存症の特徴 5 アルコール関連問題について 6 お酒を楽しむために 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	78-B 職場のメンタルヘルス講座 eL (単独) 学校現場の職場ストレスとその対処法		
ねらい	学校現場には、さまざまな人間関係の悩みや専門職としての悩み、職務の多忙化等の背景からくるストレス要因があり、教職は仕事関連ストレスのレベルが高い職種とされています。ストレスへの適切な対処と職場不適合の未然防止のためには、心の健康についての知識と理解を深めることが必要です。ストレスがどのようにして生じるのかについて理解し、ストレスコーピングの観点から自分自身のこれまでの対応を振り返りながら、職場ストレスへの対処法を身に付けることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校， 特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成29年度
学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>ストレスに関する基礎的な内容の理解とストレスに対処する上で有用なワークを含めた対処法について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ストレスのメカニズムについて 2 自分自身について考える 3 職場ストレスへの対処法 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	79 理科観察・実験指導基礎講座 eL (単独)		
ねらい	理科の観察・実験における指導法の基礎を習得します。また、観察・実験の授業における工夫、事故防止等の留意点について学びます。		
対象者	【自由応募】県立学校の実習教員，小学校，特別支援 学校の教員及び中学校，高等学校の理科担当教員	公開開始年度	平成28年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>理科観察・実験の基礎を理解し、実験を安全に実施するための指導法、薬品の取り扱いと適切な処理の方法について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観察・実験の心得・指導の基本 2 実験における事故防止 3 薬品の取り扱い 4 実験を安全に行わせるための心構え 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	80 ESD（持続発展教育）推進講座 eL（単独）		
ねらい	ESD（Education for Sustainable Development 持続発展教育）は持続可能な社会を構築するための担い手づくりであり、その視点は学習指導要領にも取り入れられています。この講座では、ESDについて学び、それを学校教育にどのように取り入れるかを考えます。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員	公開開始年度	平成29年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>ESDの内容，ESDの視点に立った学習指導を理解するとともに，小・中・高等学校での実践事例を学ぶことで，どのように学校教育に取り入れるかを考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ESDについて 2 ESDの視点に立った学習指導について 3 ESDの実践事例について 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	81 小学校英語の基礎講座 eL（単独）		
ねらい	基本的な教室英語を練習しながら，それらを授業のどんな場面で使用するのかを学びます。英語で授業を行う際の一助とし，児童が英語に触れる機会を増やすことをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員	公開開始年度	平成29年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら発音練習を行い，授業における基本的な教室英語の活用方法を身に付けます。</p> <p>※本講座は，全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は，本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教室英語の意義 2 実際の授業の展開例 (教室英語を使用しての模擬授業) 3 基本的な教室英語についての練習 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	82-A コンピュータ基礎講座 表計算の基礎 eL(単独)		
ねらい	表計算ソフトの基礎的な技術を習得します。合計・順位を求める関数や IF 関数等を利用し、校務処理用のシートを作成し、その効果的な活用を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教職員 ＜Windows の基本的な操作ができること＞	公開開始年度	平成26年度
教材学習期間	平成31(2019)年7月1日(月) ～平成32(2020)年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの準備 テキストを受講画面よりダウンロードし、各自で印刷します。 ・受講 テキストを参考にして、講師の説明やスライド画面を視聴しながら、理解を深めます。 <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。 センターでの集合研修はありません。 ※平成32(2020)年2月7日(金)到着分まで、随時、応募を受け付けます。 ※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 表計算ソフトの基本 2 Excel 2013の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・基本操作 ・表計算の基礎 ・関数の基礎 ・関数の利用 		
使用ソフト等	Microsoft Excel 2013		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	82-B コンピュータ基礎講座 プレゼンテーションの基礎 eL(単独)		
ねらい	プレゼンテーションの基本的な技術を習得します。さらに、ビジュアル表現や動きのある提示により、聞き手を引き付けるスライドの作成技術等を学び、教育活動等における効果的な活用を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教職員 ＜Windows の基本的な操作ができること＞	公開開始年度	平成26年度
教材学習期間	平成31(2019)年7月1日(月) ～平成32(2020)年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの準備 テキストを受講画面よりダウンロードし、各自で印刷します。 ・受講 テキストを参考にして、講師の説明やスライド画面を視聴しながら、理解を深めます。 <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。 センターでの集合研修はありません。 ※平成32(2020)年2月7日(金)到着分まで、随時、応募を受け付けます。 ※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションとは <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの基本的な考え方 2 PowerPoint 2013の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・基本操作 3 プレゼンテーションの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・作成手順～オンライン画像の挿入 ・表の挿入～ワードアートの挿入 ・背景の変更～スライドショー 4 発表の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の作成 5 プレゼンテーションの実施 		
使用ソフト等	Microsoft PowerPoint 2013		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	82-C コンピュータ基礎講座 ワープロの基礎 eL (単独)		
ねらい	ワープロの操作についての初心者向けコースです。文書例を作成しながら、ページレイアウトや図の挿入等を学び、あわせて、罫線処理や表の作成についても学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教職員 ＜Windowsの基本的な操作ができること＞	公開開始年度	平成26年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの準備 テキストを受講画面よりダウンロードし、各自で印刷します。 ・受講 テキストを参考にして、講師の説明やスライド画面を視聴しながら、理解を深めます。 <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。 センターでの集合研修はありません。 ※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 ※eラーニング研修の概要は、本案内p.64～p.67を御覧ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワープロソフトの基本操作 2 Word 2013の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・基本操作 3 文書の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・文書の編集 ・表の作成 		
使用ソフト等	Microsoft Word 2013		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	82-D コンピュータ基礎講座 情報モラル eL (単独)		
ねらい	情報モラル・情報セキュリティ教育の必要性を理解し、学校全体で情報モラル教育に取り組むための体制づくりや具体的な指導法について学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成28年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。 <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。 センターでの集合研修はありません。 ※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 ※eラーニング研修の概要は、本案内p.64～p.67を御覧ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報モラル・情報セキュリティ教育が必要とされる背景 2 「予防」「未然防止」「事後」教育の必要性 3 学校が組織的に情報モラル教育に取り組むために 4 アクティブ・ラーニング型情報モラル教育の事例 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		


講座・コース名	83 学校安全推進講座 eL (単独)		
ねらい	子どもの安全と安心を確保するために、学校事故への対応の基礎と学校事故の危機管理及び学校における防災対策と防災教育の実際について理解を深めます。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員	公開開始年度	平成26年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>1 学校事故への対応の基礎と危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校事故への対応の基礎 ・危機管理 <p>2 学校における防災対策と防災教育の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例1「3.11を振り返って」 ・事例2「気仙沼市の東日本大震災からの教育復興への道のり」 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	84-A 発達障害の理解と支援講座 発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～ eL (単独)		
ねらい	広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥多動性障害の特徴や子どもの様子，発達障害がある子どもたちへの具体的な支援について理解を深めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成31年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>1 発達障害の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広汎性発達障害 ・学習障害 ・注意欠陥多動性障害（ADHD） <p>2 具体的な支援</p> <p>3 理解と支援のための視点</p> <p>4 支援をつなげる</p>		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	84-B 発達障害の理解と支援講座 発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～  (単独)		
ねらい	発達障害の概念が広がり、発達障害と診断される児童生徒が増えています。発達障害の特性と概念、臨床像、医学的診断に触れつつ、他の精神的問題をもつ児童生徒との見分け方を理解することをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成27年度
教材学習期間	平成31(2019)年7月1日(月) ～平成32(2020)年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32(2020)年2月7日(金)到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>発達障害の基本的な理解と見分けるべき他の問題について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発達障害の基本 2 見分けることが必要な疾患・問題 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	84-C 発達障害の理解と支援講座 行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～  (単独)		
ねらい	児童生徒の行動面の問題は、特別支援教育に限定されない教育全体における大きな課題の一つです。本講座では、「行動」に関する基礎的な内容について理解することをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成27年度
教材学習期間	平成31(2019)年7月1日(月) ～平成32(2020)年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32(2020)年2月7日(金)到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>行動についての基本的な考え方について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行動の捉え方 2 行動を具体的に記述する 3 行動の機能 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	84-D 発達障害の理解と支援講座 行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～  (単独)		
ねらい	「82-C 行動への支援①」講座の内容を踏まえて、「褒めること」の重要性や「罰的な対応」の問題点について理解を深めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校， 特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成27年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>行動の基本的な考え方を踏まえて、支援方法を考える上での重要なポイントについて学びます。</p> <p>1 褒めることの重要性 2 行動が起こりやすくなるとき 3 罰的な対応の問題点</p>		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	84-E 発達障害の理解と支援講座 感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～  (単独)		
ねらい	発達障害児童生徒は、ストレスに上手に対処することが難しいために、時には感情に振り回されてしまいます。「感情をマネジメントする」ための支援方法を理解することをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校， 特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成27年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>感情と上手く付き合うことを支援するための考え方について学びます。</p> <p>1 はじめに 2 感情をマネジメントする</p>		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	84-F 発達障害の理解と支援講座 学習に困難のある児童生徒の理解と支援① ～学習に困難のある児童生徒の理解とアセスメント～ eL (単独)		
ねらい	学習に困難のある児童生徒の特徴について解説し、学習困難の背景要因や、具体的な支援方法について理解を深めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校， 特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成29年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>1 学習に困難のある児童生徒の理解</p> <p>2 アセスメントの方法 —情報収集—</p> <p>3 アセスメントの方法 —見立てと援助方針—</p>		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	84-G 発達障害の理解と支援講座 学習に困難のある児童生徒の理解と支援② ～学習障害（LD）の理解と支援～ eL (単独)		
ねらい	学習障害に関する基本的な概念及び状態像について学び、学校現場における具体的なアセスメントや支援の重要性について理解を深めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園，小学校，中学校，高等学校， 特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成29年度
教材学習期間	平成31（2019）年7月1日（月） ～平成32（2020）年2月28日（金）		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32（2020）年2月7日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<p>1 学習障害（LD）について —LDに関する基礎知識—</p> <p>2 読み書きの問題</p> <p>3 計算・算数の問題</p>		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	85 効果的なワークショップの方法講座 eL (単独)		
ねらい	ワークショップによる学びの意義を理解し、効果的なワークショップの運営方法を習得します。また、校内研修や研究に活用して協同的問題解決を図ったり、アクティブ・ラーニングに活用することで、授業での言語活動の充実を図ったりする方法を学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員	公開開始年度	平成27年度
教材学習期間	平成31(2019)年7月1日(月) ～平成32(2020)年2月28日(金)		
研修方法	研修内容		
<p>・講師の説明やスライド画面を視聴しながら理解を深めます。</p> <p>※本講座は、全てeラーニングで実施します。センターでの集合研修はありません。</p> <p>※平成32(2020)年2月7日(金)到着分まで、随時、応募を受け付けます。</p> <p>※eラーニング研修の概要は、本案内 p.64～p.67を御覧ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークショップとは 2 ワークショップにおける学びの意義 3 ワークショップの運営 4 ワークショップの効果を高めるために 5 校内研修・研究に生かすワークショップ 6 授業に生かすワークショップ 		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		